

● プロフィール ●

- 大蔵省に勤務し、主計局課長と主計官を経て退官するまで21年。うち主計局勤務10年で殆どの役所の予算を担当し、霞ヶ関に明るく交渉力も抜群。現在与野党併せて24人の大蔵省出身議員がいるが、主計局経験10年は断トツに長い。
- 23歳入省時、予算委員会との縁は主計局長のカバン持ちで始まった。その後は、参・予算委と現在は衆・予算委の理事や委員を長く務めるのも大きなご縁や運と言うべき。
- 参議院時代の12年間は、国対副委員長や議運委筆頭理事の仕事を中心に務めた。その間、農林水産政務次官、党厚生労働部会長、厚生労働委員長、外務副大臣を歴任。その後、衆議院に転向し、衆・財務金融委員長、党政務調査会と総務会の各副会長を務め現在に至る。
- 農政など地元の課題はもちろん、国土強靱化から母子寡婦福祉対策に至るまで、幅広い分野で活躍するオールラウンドプレイヤー。これまで永田町での活動計20年。党内では衆議院7回生の扱いで、大きな仕事を任せられる時期。



● エピソード ●

- 21年前、大蔵大臣を務めた竹下登元総理から、代沢の私邸で「金田君は『遅れて出る優良在庫品』の典型」と言われ参院選に出馬を薦められたことが政界入りのご縁。以来、政策集団「平成研究会」に所属。
- 自民党が大逆風時の2つの選挙、2007年（8年前）参院選、2009年（6年前）衆院選の両方とも戦った議員で現在生き残っているのは、党内では金田代議士1人であり、激動の時代の党の将来を考えると、政治家としてとても大切な人材。
- 現在秋田では党の県連会長を務めるが、この度の統一地方選挙では、党公認の県議会新人候補5人を擁立し全員当選させた。